

第40回土木史研究発表会

1. 主催 土木学会(担当:土木史委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>)
2. 期 日 2020(令和2)年7月11日(土)・12日(日)
3. 会 場 **WEB開催**(土木学会がライセンスを取得したZoomを基盤にWEB研究発表会を行います)
4. 参加費 **今年度は特例で無料**
 - ※ 土木史委員会のHPをご参照のうえ、**7月9日(木)**までの事前申込期間に申込を済ませてください(「参加URL」をお送りします)。(発表者・座長の方は、お申込みの必要はありません。)
 - 講演集販売:4,500円
 - ※ 例年の**会場販売はありません**ので、土木史委員会のHPをご参照のうえ、**6月27日(土)12:00**までに申込を済ませてください(当日までにお届け)。(発表者・座長の方には、1冊無料でお届けいたします。)
5. シンポジウム
 - ◇Webシンポジウム「公衆衛生と土木史」後藤新平に学ぶ(仮)
 - 1)日 時:2020(令和2)年7月11日(土) 17:45~18:45
 - 2)会 場:WEB開催(研究発表会に引き続き、Zoomにて開催(研究発表会へお申し込みください。))
 - 3)参加費:無料

6. プログラム

◆7月11日(土)

時間	午前	時間	午後
		12:50	開会挨拶 土木史委員会委員長 知野泰明
10:00	リハーサル	13:00	【災害】(企画) 司会:石橋知也(長崎大学) コメンテーター:島谷幸宏(九州大学)
	※ZOOMを用いて発表手順等のリハーサルを実施		1 明治43年大水害への政府の対応について —内務省を中心にして— 1 土田宏成(聖心女子大学)
		2 気象庁55年長期再解析・降雨流出氾濫モデル及び地理情報システムを用いた過去の洪水状況の再現と水災害史研究への活用可能性に関する研究 ★	
		9 傳田正利(土木研究所)・諸岡良優・藤兼雅和	
		3 熊本城の被災石垣の変状計測と力学的安定性評価に関する基礎的研究 ★	
		17 山口真歩(長崎大学)・杉本知史・蔣宇静・山中稔	
		4 道路擁壁及び河川護岸における石積みの破壊形態について ★	
		25 三山幹木(パシフィックコンサルタンツ)・真田純子	
		5 学び方からみた災害アーカイブの活用に関する研究 ★	
12:00			15:05 33 田中尚人(熊本大学)・井形康太郎・竹内裕希子
			15:25 【土木史一般】 司会:中村晋一郎(名古屋大学) コメンテーター:北河大次郎(文化庁)
		6 手取川における戦後の流域開発が手取川河道の樹林化に与えた影響に関する研究 ★	
		43 田屋祐樹(国土開発センター)・傳田正利	
		7 東京築港を導いた古市公威と五人の技術者	
		55 手島道人(首都東京みなと創り研究会)・寺中啓一郎	
		8 鬼と土木の民俗学的考察 ★	
		67 中尾聡史(京都大学)・森栗茂一	
		9 長野県における近代上水道の歩み —近世水道からの継承と地方の近代水道整備の特徴—	
		75 山浦直人(千代田コンサルタント)	
		10 昭和9年室戸台風による災害復旧橋梁の『岡山縣道路橋寫真輯』について	
		17:30 83 樋口輝久(岡山大学)・紅林章央	
		17:45 Webシンポジウム	
		「公衆衛生と土木史」後藤新平に学ぶ(仮) ナビゲーター:田中尚人(熊本大学) 解説者:佐藤彰博氏(後藤新平記念館 館長) 参加型討論会「コロナ禍における土木史研究」	
		18:45	

※7月11日(土)以前に接続確認, 画面共有の方法など,
発表練習の場を設ける予定です

◆7月12日(日)

時間	午前
8:30	<p>【土木遺産の評価・活用】 司会:大沢昌玄(日本大学) コメンテーター:五十畑弘(道路文化研究所)</p> <p>11 戦後土木施設として歴史・文化的価値の高い砂防施設の抽出・評価に関する一考察</p> <p>87 澤陽之(岩手大学)・小川紀一郎</p> <p>12 土木遺産ツアーにおける土木コミュニケーションに関する研究(その4) ★</p> <p>91 原口征人(北海道開発技術センター)・今尚之・石川成昭</p> <p>13 土木史的価値の評価基準に関する一考察</p> <p>95 武市修一(徳島県土地開発公社)・鈴木圭</p> <p>14 港町油津の歴史的環境保全に向けた記憶遺産継承ツール作成 ★</p> <p>10:10 101 金井凌介(法政大学)・永村景子</p>
10:30	<p>【治水・利水】 司会:本田 泰寛(第一工業大学) コメンテーター:知花武佳(東京大学)</p> <p>15 日英水力による大井川の水力発電開発計画と北米西部開拓—森田一雄『南船北馬五十年』技術思想史— ★</p> <p>109 谷川竜一(金沢大学)</p> <p>16 早月川で外国人が発した「これは川ではない 滝だ」のフレーズ</p> <p>123 貴堂巖</p> <p>17 日本における確率主義の導入過程—昭和28年西日本水害から技術基準まで— ★</p> <p>127 中村晋一郎(名古屋大学)・小池俊雄・沖大幹</p> <p>18 近世から近代前期にかけての阿蘇南郷谷に見る湧水と農業利水の関係 ★</p> <p>12:10 135 寺村淳(九州大学)</p>
12:20	<p>2020年度 土木学会論文賞 受賞講演</p> <p>「木曾川上流支派川改修と土地改良—近代水系基盤形成のための連携構築プロセス—」 [土木学会論文集D2(土木史)Vol.73, No.1, pp.54-62, 2017.] 講演者: 出村嘉史氏 ナビゲーター: 中村晋一郎(名古屋大学) 出村嘉史先生・中村晋一郎先生対談</p>
13:20	

時間	午後
13:30	<p>【構造物】 司会:西山孝樹(日本大学) コメンテーター:鈴木圭(日本大学)</p> <p>19 足尾銅山の馬車鉄道に関する研究—歴史的背景から敷設に至るまで— ★</p> <p>141 青木達也(宇都宮大学)</p> <p>20 パレス・デュ・モラルによるグルネ橋の設計経緯に関する研究 ★</p> <p>153 本田泰寛(第一工業大学)・Stéphane SIRE・小林一郎</p> <p>21 近世最大の砂防施設群“別所砂留”(第五報)—砂留の基礎構造— ★</p> <p>161 樋口輝久(岡山大学)・秋田哲志</p> <p>22 古代スリランカの貯水施設に関する基礎的研究—コラサーガラ貯水池の樋門構造について— ★</p> <p>15:10 165 鈴木慎也(東京工業高等専門学校)</p>
15:30	<p>【関西の土木史】(企画) 司会:寺村淳(九州大学) コメンテーター:神吉和夫(元神戸大学)</p> <p>23 大宮橋(推定明治初期の70ft桁)について</p> <p>171 黒山泰弘(都市技術センター)・松村博</p> <p>24 神戸市の古典的水道ダムにおける排砂バイパス水路</p> <p>179 松下眞(神戸市水道局)</p> <p>25 集落内の石垣の氾濫流に対する防禦機能—亀岡市河原尻集落を対象として— ★</p> <p>185 林倫子(関西大学)・和田一真・石垣泰輔</p> <p>26 地方藩史にみる社会基盤整備の記述—『南紀徳川史』を対象として— ★</p> <p>17:10 197 西山孝樹(日本大学)・藤田龍之・天野光一</p>
17:15	<p>総括および閉会挨拶 土木史研究委員会幹事長 樋口輝久</p>
17:20	<p>振り返り会(アフター・フリートーク)</p>

講演集 収録	熊本城飯田丸五階檜台石垣隠れ石垣と動的安定性
	209 福田光治(大成ジオテック) 行基架橋考
	217 松村博 橋は何故落ちたか?(その3)—柔剛論争の顛末
	225 福島啓一 1893(明治年)年竣功のコンクリートアーチ橋 八尾眼鏡橋(その4)
	233 長谷川洸(八尾生コン)